

事業名 平成19年度小・中・特別支援学校PTA指導者研修会

趣 旨 心身ともに健全な児童生徒の育成に向けて、PTA活動に関する研修を行い、PTA活動の活性化を図る指導者としての資質向上をめざす。

実施主体 主催:新潟県教育委員会（主管:上越教育事務所）共催:上越管内3市教育委員会

参加対象 小学校、中学校、特別支援学校PTAの役員及び教職員会員

参加者数 159人

回 数 1 回 **日 数** 1 日 **時 間** 3 時間

場 所 上越市ユートピアくびき希望館（上越市頸城区百間町716番地）

内 容

| 回 | 期日・時間 | テーマ | 講師等 |
|---|-------------------------|--|--------------|
| | 6月13日(木) 13:20～16:20 | 「主体的に学び行動するPTAをめざして」 ～「ストップいじめ」に取り組むPTA～ | 講師 CAP・じょうえつ |
| 1 | 内容・方法 | ①開会式 ②趣旨説明（趣旨説明は、生涯学習推進課担当副参事から行ってもらい、ワークショップへの方向付けとした） ③ワークショップ テーマ「いじめ防止、親にできること」 講 師：CAP・じょうえつ 荻原佐知子様 他3名 ○ CAPのなりたちと歴史の説明 ○ CAPのプログラムの概要の説明 ○ 参加者がペアで自分の子どもの頃を語り合う ・ 内容を発表し合う（時間の関係で、5～6人が行う） ○ 子どもワークショップの実演（一部）とその説明 ・ CAPの基本となる考え方：3つの権利「安心」「自信」「自由」が奪われたときがいじめになり、それは「暴力」である ・ 実演場面ごとに参加者がペアで話し合い、その後から感想や考えを聞く ・ 実演をまとめ、子どもへの暴力の3つの要因とその防止方法について説明する ○ 私たち大人にできることとしてワークショップの内容をまとめる ○ 「CAPのプログラム」は地域のスペシャリストが実施することの確認を行う ④閉会式 | |

成 果 ・ 「いじめ＝暴力」と定義し、その対応についてロールプレイングや解説などを交えた具体的で分かりやすい説明は、参加者の多くに受け入れられ、今後のいじめ防止に向けた取組につながっていくものと期待される。
 ・ いじめ防止に向けた内容の研修会を「いじめ根絶県民運動」の強調月間に実施できたことは、いじめ根絶に向けた取組が、学校、家庭、地域をあげて展開されているという意識啓発につながるものであり、その意義は大きいものがあつた。

課 題 ・ 本研修会が子育て真っ盛りの保護者が毎年150人ほど確実に集まる機会であることから考えると、取組を強化していかなければならないとされている家庭教育、青少年問題、安全・安心なまちづくり等の学習機会として、とても意義あるものである。しかも参加者が各PTAの指導的立場にあることも考え合わせると、今回のようにモデル的な事業を実施し、それを各校のPTA活動に広めていくことも、PTA活動の活性化につながっていくものと考ええる。

問合せ先 新潟県教育庁上越教育事務所社会教育課
 〒943-8551 上越市本城町5-6 Tel 025-526-9377 FAX 025-523-7542
 E-mail ngt501010@pref.niigata.lg.jp